

平成 20 年度社会的養護における施設ケアに関する実態調査

タイムスタディ調査の実施状況（報告）

1. タイムスタディ調査について

①調査対象施設数

○児童養護施設	21 か所
○乳児院	4 か所（20 年 3 月調査と合わせて 6 か所）
○情緒障害児短期治療施設	3 か所
○児童自立支援施設	2 か所
○母子生活支援施設	4 か所

②調査対象施設の選定条件等

調査対象施設の選定については、施設種別ごとに職員配置等の条件で抽出を行ったリストの中から、各施設協議会より推薦を受けた施設のうち、調査の協力が得られた施設とした。

○児童養護施設

職員配置等	ケア形態	対象ユニット数	対象施設数	総児童数
手厚い配置	大舎	ユニットを分割	11 か所	196 人
	小舎・小規模	2 ユニット	7 か所	113 人
平均的な配置	大舎・中舎	ユニットを分割	3 か所	52 人
計			21 か所	361 人

○乳児院

職員配置等	ケア形態	対象ユニット数	対象施設数	総児童数
手厚い配置	小舎・小規模	2 ユニット	2 か所	24 人
	小舎・小規模以外	1 ユニット	2 か所	31 人
計			4 か所	55 人

○情緒障害児短期治療施設

職員配置等	ケア形態	対象ユニット数	対象施設数	総児童数
入所率高い（80%以上）	大舎	ユニットを分割	1 か所	9 人
手厚い配置	小舎・小規模	2 ユニット	2 か所	29 人
計			3 か所	38 人

○児童自立支援施設

職員配置等	ケア形態	対象ユニット数	対象施設数	総児童数
入所率高い（60%以上）	夫婦制	1 ユニット	1 か所	12 人
手厚い配置	交代制	1 ユニット（寮舎）	1 か所	12 人程度
計			2 か所	24 人程度

○母子生活支援施設

職員配置等	ケア形態	対象ユニット数	対象施設数	世帯数	総児童数
入所率高い(70%以上) 手厚い配置	本園のみ	入所世帯すべて	2か所	38世帯	71人
	小規模分園	入所世帯すべて	2か所	74世帯	135人
計			4か所	112世帯	206人

③調査の概要

本調査は、「施設職員の業務量調査(1分間タイムスタディ調査)」と「入所児童の状態調査(アセスメント調査・突発事象等調査)」の二つの調査により構成される。

1) 施設職員の業務量調査(1分間タイムスタディ調査)

- ・入所児童に対し、どのようなケアを、どのくらい(時間)、施設職員が提供しているのかを数量的に把握する目的で実施する調査。
- ・調査は、児童を日常的にケアする職員が行う2日間タイムスタディ調査(他計式)と、児童を日常的にケアする職員以外が行う7日間タイムスタディ調査(自計式)の二つを行う。

2) 入所児童の状態調査(アセスメント調査・突発事象等調査)

- ・入所児童一人ひとりの心身の状態や突発事象等を把握する目的で実施する調査。
- ・調査は、調査対象とする児童一人ひとりに対して行うアセスメント調査と、突発事象等調査の二つを行う。

④調査に用いる調査票等(様式1~13、資料1)

- 1) 調査実施確認票(様式1)
- 2) 調査対象児童一覧表(様式2)
- 3) 調査対象職員一覧表[2日間タイムスタディ調査用](様式3)
- 4) 調査対象職員一覧表[7日間タイムスタディ調査用](様式4)
- 5) 調査対象職員の勤務シフト確認票[2日間タイムスタディ調査用](様式5)
- 6) 調査対象職員の勤務シフト確認票[7日間タイムスタディ調査用](様式6)
- 7) 調査員担当票(様式7)
- 8) アセスメント調査票[母子生活支援施設以外:①就学前児童用、②就学後児童用](資料8-①、8-②)
- 9) アセスメント調査票[母子生活支援施設:①就学前児童用、②就学後児童用、③世帯票](資料9-①、9-②、9-③)
- 10) 児童の突発事象等調査票(様式10)
- 11) 2日間タイムスタディ調査票(様式11)
- 12) 7日間タイムスタディ調査票(様式12)
- 13) 施設概況調査票(様式13)
- 14) 業務分類コード票(ケアコード票)(資料1)

2. スケジュール

①説明会の開催

○乳児院、児童養護施設、情緒障害児短期治療施設

平成21年1月23日（金）13：30～17：00（東京会場）

平成21年1月26日（月）13：30～17：00（大阪会場）

○母子生活支援施設

平成21年1月28日（水）13：30～17：00（東京会場）

○児童自立支援施設

平成21年2月23日（月）、2月27日（金） 個別説明

②調査の時期

説明会終了後、施設内における準備終了後、2月中旬～3月中旬

③調査票の回収

3月中旬～下旬

3. グループインタビューについて

タイムスタディ調査の実施後に、調査時に、調査対象施設において調査員となり、日常的に児童への直接的なケアに従事している職員を対象とし、調査当時の児童の状態とケア時間・内容についてのグループインタビュー調査を実施する。

グループインタビューの目的は、児童の臨床像とケア時間の多寡との関連性をグループインタビューを通じて明確にすることである。